

宮ノ陣ビオトープ新聞

第 14 号

(2026 3 月)

宮ノ陣学びのビオトープ

2016 年 9 月創刊 不定期発行

発行

くるめハイトラスト株式会社
久留米市宮ノ陣町八丁島 2225 番地
〒839-0805 TEL0942-27-7515
協力 株式会社エコプラン 研究所

宮ノ陣学びのビオトープから生き物や季節の情報をお伝えし、豊かな久留米市の将来へのライフスタイルを提案する新聞。

実に十種類のヤゴが確認されました。宮ノ陣学びのビオトープが、空を舞うトンボたちにとって大切な「育ちの場」になっていることが分かります。

一方で、課題も見つかりました。フロリダマミズヨコエビやオオカナダモ、ハブタエモノアラガイといった、本来は日本にはいない「外来種」の侵入です。これらは在来種のすみかを奪ってしまふ恐れがあります。今回の池干しでは、これらの外来種を可能な限り取り除き、在来種がより住みやすい環境へと整えました。

●これからのビオトープ

池干しを終えた池は、しばらく天日干しをした後、再び新しい水が満たされます。春にはニホンアマガエルの声が響き、夏には多くのトンボが羽ばたくことでしょう。絶滅が危惧されるヒシモドキなどの水生植物も、大切に見守っていかなくてはなりません。

皆さんもぜひ、新しくなった宮ノ陣学びのビオトープの様子を観察しに来てください。小さな命たちが、皆さまのお越しを待っています。

表 池干しで確認した主な生物

分類	種名	数量							備考		
		第8回 2025.12	第7回 2024.12	第6回 2024.3	第5回 2023.2	第4回 2022.2	第3回 2021.1	第2回 2019.12			
魚	カワバタモロコ	17	108	14					絶滅危惧ⅠA類(福岡県)、絶滅危惧ⅠB類(環境省)、特定第二種国内希少野生動物種		
	ツチフキ	45	73	67	58	34	94	約30	絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)、絶滅危惧ⅠB類(環境省)		
	モツゴ	122	251	109	約300	約100	183	約100			
	ミナミメダカ	63	143	55	687	約100	210	500以上	単絶滅危惧(福岡県)、絶滅危惧Ⅱ類(環境省)※ただしヒメダカが確認されている以上、遺伝子的な観点から重要種とは考えない。		
	ヒメダカ	1	3	-	-	-	-	2		品種改良による觀賞魚	
底生動物	ミナミヌマエビ	数えきれないくらい多数	数えきれないくらい多数	430	数えきれないくらい多数	数えきれないくらい多数	数えきれないくらい多数	数えきれないくらい多数			
	フロリダマミズヨコエビ	10	多数	多数	多数	多数	多数	多数	外来生物		
	ヤゴ(クロスギンヤンマ)	50	-	-	-	3	-	約10			
	ヤゴ(ギンヤンマ)	77	70	2	-	1	7				
	ヤゴ(オオヤマトンボ)	4	2	-	5	-	-				
	ヤゴ(シオカラトンボ)	21	30	28	59	15	10				
	ヤゴ(オオシオカラトンボ)	1									
	ヤゴ(コオニヤンマ)	-	-	1							
	ヤゴ(イトトンボ科)	-	-	-	1	1					
	ヤゴ(クロイトトンボ)	-	1								
	ヤゴ(クロイトトンボ属)	4								経産幼虫ではないため区別が困難であったためとした	
	ヤゴ(ベニイトトンボ類)	2								ヤゴでのベニイトトンボとリュウキョウベニイトトンボの区別は難しい。ベニイトトンボであれば重要種。	
	ヤゴ(アオモンイトトンボ属)	18								経産幼虫ではないため区別が困難であったためとした	
	ヤゴ(ショウジョウトンボ)	5									
	ヤゴ(コフキトンボ)	1									
	コガタノゲンゴロウ	38	120	15	-	100以上	110	約50		単絶滅危惧種(福岡県)、絶滅危惧Ⅱ類(環境省)	
	ハイロゲンゴロウ	2									
	ウスイロシマゲンゴロウ	5	20	8	1	2	10	5		以前は重要種であったが、2024年の福岡レッドデータブックから除外扱いとなった。	
	ヒメゲンゴロウ	-	1	-	-	-	-	1			
	ヒメミズカマキリ	1	-	-	-	-	-	2			
ミズカマキリ	2	-	-	1	-	1			単絶滅危惧(福岡県)		
ヒメガムシ	17	20	21	-	4	10	約10				
キヒロヒラタガムシ	1	-	-	-	2						
フタバゲロウ	-	-	1								
カワニナ	300以上	100	12	112	50以上	107	約30				
シジミ属	1	-	-	1	1						
モノアラガイ	5									単絶滅危惧(環境省、福岡県)	
ハブタエモノアラガイ	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数		外来生物		
カエル	ヌマガエル	-	-	-	-	1	1				
	ニホンアマガエル	2	1								
植物	ヒシモドキ	多数									絶滅危惧ⅠA類(福岡県)、絶滅危惧ⅠB類(環境省)
	オオカナダモ	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数		外来生物	



水路の植物を刈り取る様子



池の水を抜いて底が見えるようになった状態

いのち輝く池の底！池干し調査で見えた「水辺の素顔」

宮ノ陣学びのビオトープでは、池内に生息できる生き物がくらす環境を整えるために、様々なテーマで学習や実践活動を行う中で、ビオトープの池の水を抜いて、水質の維持と生態系調査を目的とした「池干し(かいぼり)」を定期的に行っています。八回目となる池干しを二〇二五年十二月に実施しました。水を抜いてみると、一見静かな池の底には、私たちの想像を超える豊かな「いのちの循環」が広がっていました。

●驚きの多様性！絶滅危惧種も確認

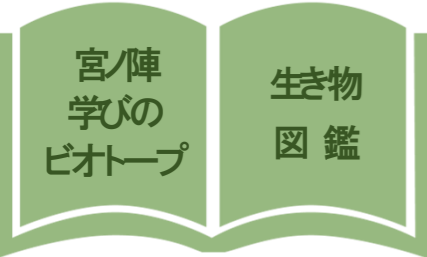
今回の調査で最も大きな収穫は、国内で希少となっているカワバタモロコやコガタノゲンゴロウなどの生存が確認されたことです。これらは豊かな自然環境の指標となる生物であり、宮ノ陣学びのビオトープが地域の貴重な避難所(シェルター)として機能していることが証明されました。また、ツチフキやミナミメダカといった魚類に加え、ミズカマキリやヒメガムシといった水生昆虫も多数見つかりました。ただし、品種改良による觀賞魚であるヒメダカが確認されている以上、遺伝子的な観点から重要種と断定するのは難しい状況です。

●「トンボのゆりかご」としての役割

特筆すべきは、ヤゴ(トンボの幼虫)の種類の多さです。大型のギンヤンマやオオヤマトンボ、可憐なクロイトトンボやベニイトトンボ類など、

みやのじんビオトープこども新聞 しんぶん

みやのじんビオトープは、水、土、緑などいろいろな環境に生きものがくらすようになるためにつくられ、人が生きものについて学ぶばしょです。この「みやのじんビオトープこども新聞」は生きものやきせつのこと、イベントや学習会のことなどをお伝えします。



みやのじんビオトープの池いけぼし いけの ところに だれが いたかな？

水のなかの ハンターたち

かっこいい 昆虫も 大しゅうごう！

スイスイ およぐ「コガタノゲンゴロウ」

長い お口で つかまえる「ミズカマキリ」

みんな、ごはんを たべたり かくれたりして、
いっしょうけんめい くらしていました



コガタノゲンゴロウ



ミズカマキリ

レアキャラ はっけん！「かわばたもろこ」

日本中で かずが へってしまって、とっても めずらしい

「カワバタモロコ」という 小さなお魚が 見つかりました！

ほかにも、お鼻が まるい「ツチフキ」や、かわいい「ミナ
ミメダカ」も 元気に およいでいました。

この池は、お魚たちの だいじな「かくれが」なのです。



カワバタモロコ

トンボの あかちゃんがいっぱい！

池の そこには、トンボの あかちゃん「ヤゴ」が たくさん
くらしていました。大きくて かっこいい「ギンヤンマ」、とて
も めずらしい「ベニイトンボ」など、なんと 10しゅるい
も 見つかりました！夏になったら、この池から たくさんの
トンボが お空へ とびたっていくはずです。



ギンヤンマ

これからの ビオトープ

こんかいの 池のおそうじで、池は とっても きれいになりました。

みんなも、どんな 生きものが いるか、そーっと のぞきに きてください！

いけ 池 中のくらしをのぞいてみよう！

いけ 中では、いろいろな生きものが いっしょに くらしているよ！



※あくまでイメージで、じっさいとは ことなります